

草津市立玉川小学校 学校だより

令和3年11月1日

第7号

玉川小学校長

小野澤 祐子

4つのき

〒525-0059 草津市野路9丁目6番12号 TEL 563-1271 FAX 563-1306

緊急事態宣言が解除された10月1日からは、学習の幅が広がり、子どもたちは生き生きと活動しています。地域の方と共に学習する機会もたくさんあり、学校だけでなく家庭や地域全体で子どもを見守り、育ちを支えることができることに感謝しています。

☆稲刈り・・・10月8日は暑い日でしたが、5年生が手作業で稲刈りを行いました。作業の大変さを実感したり、収穫する喜びを味わったりしました。



また、コンバインでの稲刈りも経験させていただき、貴重な体験となりました。

地域の方には当日だけではなく、稲の世話など多大なサポートをいただいています。本当にありがとうございます。

☆芋ほり・・・10月13日に1年生が芋ほりをしました。今年は大豊作！焼き芋をするのにちょうどよい大きさの芋がゴロゴロと土の中から出てきました。子どもたちは大喜び。地域の方が朝早くからつるまくりをし、掘りやすいようにして下さったおかげです。ありがとうございます。



☆焼き芋パーティー・・・収穫した芋だけでは足りず、地域の芋を分けていただき玉川こども園の分も合わせて700本以上焼いていただきました。焼きたてホ



カホカのお芋を食べる子どもたちの幸せそうな笑顔が素敵でした。地域の方にお礼を言ったり手紙を書いたり、やさしい子どもたちに育っています。

☆環境学習・・・10月12日・14日に環境学習の講師として、福田夫妻にお越しいただき、様々な環境問題について学びました。



講師の福田夫妻は、環境省より認定された「環境カウンセラー」として、様々な機会環境教育・活動に取り組まれています。今回は、特に

地球温暖化、食品ロス、海洋プラスチック問題等について、わかりやすく教えていただきました。「気づき、考え、行動し、変える」ことが大切であることを聞き、解決に向けて自分で取り組めることはど

んなことか、^{あらた}改めて^{かんが}考えるきっかけとなりました。今回は^{こんかい}5年生でしたが、11月は^{ねんせい}4年生にもご^{がつ}指導^{ねんせい}いただきます。

☆^{だんたいえんぎ}団体演技^{れんしゅう}の練習^が11月4日の^{ほんばん}本番^むに向けて、どの^{がくねん}学年も^{れんしゅう}練習に^{ねつ}熱が入ります。学年で一つの^むことに向かって^{すば}チャレンジしていくのは素晴らしい^{けいけん}経験^{やす}です。休み時間^{じかん}も自主的に^{じしゆてき}練習^{れんしゅう}している^{すがた}姿^みを見かけます。気持ち^{きも}を合わせて、みんな^あで^{つく}作り上げていく^{よろこ}喜び^{あじ}を味わってほしいです。



どうとくか じかん 道徳科の時間



とも じぶん たいせつ ころ そだ 友だちも自分も大切に^{ころ}する^{そだ}心を育てよう

10月27日には^が畿央大学^{にち}島^{きおうだい}恒生教授^{しま}に^{つねおき}来校^{じゅう}いただき^{らいこう}ました。授業^{じゅぎょう}を^{さんかん}参観^{あと}して^{けんきゅうかい}いただいた^{しどう}後、研究会^{しどう}で^{しどう}ご指導^{しどう}いただきました。

道徳科^{どうとくか}の授業^{じゅぎょう}の研究^{けんきゅう}をすることは、^{ほか}他の^{きょうか}教科^{じゅぎょう}の授業^{じゅぎょう}改善^{かいぜん}にもつながります。「^{まな}学ぶ^かことは^こ変わる^ここと」子ども^この「できた」「^{じっかん}わかった」が^て実感^てできる^て手ごたえのある^て授業^{じゅぎょう}を目指^{めざし}して^{がんばり}頑張り^{がんばり}ます。



玉川^{たまがわ}子ども園^{えん}の園児^{えんじ}が^{うんどうじょう}運動場^{うんどうかい}で^{れんしゅう}運動会^{れんしゅう}の練習^{れんしゅう}をしています。それ^みを見ている^{たまがわ}玉川小^{しょう}の^こ子ども^こたちは、^{おうえん}応援^{はくしゅ}をしたり、^{おく}拍手^{おく}を送^{おく}ったりしています。「^こやさしい^こ子ども^こたち^こですね。」^こと^こ居松^{いまつ}園長^{えんちやう}先生^{せんせい}から^{ことば}うれしい^{ことば}言葉を^{じぶん}いただき^{やす}ました。自分^{じぶん}が^{やす}優しく^{やす}された^{やす}経験^{けいけん}がないと^{あいて}相手^{あいて}に^{やす}優しく^{やす}できません。子ども^こたちの^{そだ}育ち^{そだ}を^{おも}うれしく^{おも}思いました。

これから^{やす}も^{やす}優しく^{やす}あふれる^{やす}玉川小^{たまがわ}でありたいです。そのためには^ひ日^ひごろの^{わたし}私^{わたし}たち^{おとな}大人^{おとな}が^{はな}話^{はな}す^{はな}言葉^{ことば}や^{こうどう}行動^{こうどう}が、^{あいて}どれ^{あいて}だけ^{あいて}相手^{あいて}の^{おも}こと^{おも}を^{おも}思い^{おも}やる^{おも}もの^{おも}になっ^{おも}ている^{おも}か、^ふ振り^ふ返^ふって^ふ考^{かえ}えて^{かえ}み^{かえ}な^{かえ}ければ^{かえ}なり^{かえ}ませ^{かえ}んね。